

立会の風

（校長通信）No.14 校長 滝淵 正史

継続は力（金管バンドの活動）

立会小学校の特色ある活動の中の一つに、金管バンド（星の子キッズ）があります。4年生以上の希望者で構成する、いわゆる課外の部活動という位置付けのバンドです。音楽の田辺主任教諭と学校地域コーディネーターの梅内さんが指導を行い、保護者のみなさまに運営を支えていただいている活動しています。通常であれば、校内での演奏（行事など）の他、地域のイベントや区の発表会などで演奏をしています。



しかし、一昨年度末以来のコロナ禍の影響で、演奏を披露する機会がこれまで1年半もありませんでした。そんな中でしたが、バンドとしての活動は、コツコツと継続してきました。6月から全校朝会を校庭でやることにしたことを受け、23日（水）の朝、全校朝会后にこれまでの練習の成果を発表する機会を設けました。6年生は1年半ぶりの、5年生にとっては初めての演奏を披露する場になりました。

天気が心配でしたが、程よい曇天でした。全校朝会では、校長から「継続は力」というテーマで、「このバンドのメンバーは、全員が、始めたばかりの時は、まったく演奏ができなかったが、毎朝たった3～40分の練習の積み重ねで、これから聞いてもらうような演奏ができるようになるのです。続けて一つのことをやり続けるのは、大きな力になるのです。」と話をしました。

曲目は「聖者の行進」と「That's a Plenty」の2曲と部長によるバンド紹介でした。両方とも軽快な曲で、途中から手拍子も起こり、観客は演奏を楽しんでいる様子を感じられました。バンドのメンバーも、はじめはやや表情が硬く緊張しているかなという様子も感じましたが、すぐにいつもの練習の雰囲気、集中して演奏をしていました。

練習を継続していくことは、決して簡単なことではありません。「好き」だけでなく、努力や粘り強さなど意志の強さが欠かせません。40分程度とはいえ、他の児童より早く登校してくる（それも毎日）ためには、生活の一部にする必要があります。それでも、確実に演奏スキルを身に付け、徐々に自信を深めている様子を見ると、本当に応援したくなります。

この活動に限らず、コツコツと努力を積み重ねているものをもっている児童がたくさんいると思います。私は、そんな児童の頑張りを、いつも応援しています。

※立会の風No.13で紹介した「えんぴつ教室」、昨年度はコロナ禍で実施できていなかったことがご指摘で分かりました。誤った内容で2年生には申し訳ないことをしました。三菱鉛筆の担当の方と相談し、2年生にもあらためて実施することにしました。